

2001 年 8 月 3 日

大気物理学  
感想文

講義 ( 2001.6.28 ~ 7.27 )

物質地球科学科地学系  
二年次 003219 B  
小嶋 純史

## 大気物理学の感想

### **何がわからなかったか？**

授業中にわからなかった点については、すぐ授業後に質問することができたことは、理解するのに大変効果がありました。講義中で理解したと思っても、家に帰って読み直すと理解していないところが数多くありました。しかし今週、全体を通してもう一度復習してみると、大変よくわかりました。ただ、数学的な変換で幾つかわからないところがあったのでまだ復習の余地があると思います。これは自分の数学的な学力が足りないと再認識させられたので、あえて質問せずに自分で解こうと思います。大気の事を考えるには、それだけを見ては駄目で、数学や物理学などの知識も大変重要だと思いました。

### **何故理解できなかったか？**

授業中は一生懸命聴いていた方なので、説明があったところは理解できましたが、時間がなくて省略された部分は理解するのに大変苦労しました。理由としては自分の数学的、物理的な学力がない為だと思います。

### **何がわかったか(面白かったか)、何に興味を持ったか。何を知りたいのか？**

第四章(大気の運動)で、傾度風の式(75)は低気圧で考えて作った式なので、高気圧の風速を与える式にはならないと思いました。では、どうすれば高気圧性の台風が存在しない理由を数学的に証明できるのでしょうか。やはり沖縄にいて興味を持つのは台風だと思います。せっかく地学系にいるので、これから調べて自分の研究テーマにしたいです。

### **特に共感したところ**

先生が第二章の終わりでおっしゃられていた“地球温暖化を考えると、生物やら人間活動を問題にする前に、大気の構造を知るべきだ”という言葉に大変共感しました。現在、地球や大気の構造の説明が十分にされていないまま、資源を無駄にするな！とか、CO<sub>2</sub>の削減だ！とかが騒がれています。私達はまず、身の回りの仕組みから理解しなければならないのではないのでしょうか。今回の授業はそれを知る大変良い機会であったと思います。